

令和 2年度 行政評価事業別シート

<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	千葉	
全体計画			経費区分	—	内線		3645	
事務事業名	4292 子育て支援センター管理運営事業							
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課							
施 策	02020900 子育て環境の充実							
予算 科目	会計	01 一般会計						
	科目	030204 民生費・児童福祉費・子育て支援センター費						
	事業	020000 子育て支援センター管理運営事業						
事業目的	事業概要・効果							
地域社会全体で子育てを支援する基盤の形成を図り、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。				子育て支援の拠点施設として、子育て家庭が抱える育児不安等の相談窓口となり、育児支援のための各種講座を開催。また、保護者の繋がりを支援するための集いの場の提供、子育てサークル等の活動に対して育成・支援を行うなど子育て家庭のニーズに沿った事業を行い、子育て家庭全般の支援を実施している。ファミリー・サポート・センター事務局を置き、地域全体で子育て家庭を支え合う基盤づくりに努めている。				

PLAN-DO**年度実績及び予定**

平成27年度 実績	平成28年度 実績
開所日数 294日 施設延べ利用者 20,728人 子育てに関する相談支援 各種講座、イベント開催	開所日数 293日 施設延べ利用者 18,566人 子育てに関する相談支援 各種講座、イベント開催
平成29年度 実績	平成30年度 実績
開所日数 294日 施設延べ利用者 18,525人 子育てに関する相談支援 各種講座、イベント開催	開所日数 292日 施設延べ利用者 16,249人 子育てに関する相談支援 各種講座、イベント開催
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
開所日数 290日 施設延べ利用者 16,763人 子育てに関する相談支援 各種講座、イベント開催	子育てに関する相談支援 子育てミニ講座、すくすく育児ランド、すくすくパパ、シルバー人材センター会員との交流、中高生とのふれあい事業等の講座やイベントを開催 移動式エアコンの設置

指標名	無し				
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		6,463	9,362
特 定 財 源	国庫支出金	1,912	2,243
	都道府県支出金	1,912	2,599
	地方債	0	0
	その他	100	1,000
一般財源		2,539	3,520
人 員 数 (人)	正規職員	1.1	1.1
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	1.0	1.0
	計	7,991.5	7,991.5
人 員 コス ト	正規職員	2,829.0	2,829.0
	嘱託職員	1,298.0	1,298.0
	臨時職員	12,118.5	12,118.5
	計	0.4	0.4
市民一人当たりの経費		18,581.5	21,480.5
総額			

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	117	各種講座の講師謝礼等117
11節 需用費	372	消耗品280、食糧費30、賄材料費29、医薬材料費3 ファミリー・サポート・センター活動報告書印刷費30
13節 委託費	18	シルバーパートナーズセンター庭木剪定委託18
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	30	ファミリーサポートネットワーク全国講習会参加費30
その他	5,926	郵便代8、電話料63、カーペットのクリーニング代等34、 ファミリー・サポート・センター補償保険加入保険料138、ほか

(単位：千円)

令和2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	253	各種講座の講師謝礼等253
10節 需用費	459	消耗品226、食糧費30、賄材料費50、医薬材料3 ファミリー・サポート・センター活動報告書印刷費150 ほか
12節 委託費	20	庭木剪定委託料20
14節 工事請負費	75	移動式エアコン電気設備工事75
18節 負担金補助及び交付金	59	ファミリー・サポート・センター事業アドバイザー講習会等50、 地域子育て支援士二種養成講座 9
その他	8,496	郵便代8、電話料71、カーペットのクリーニング代37、 ファミリー・サポート・センター補償保険加入保険料147、ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の生命・財産を守るために市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	育児不安等を軽減するための相談・支援及び来館者の親子のつながりを支援する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	子育て中の親が、子育てに対する不安感や負担感を軽減し、子育てが楽しいと感じることができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	世代間交流や地域のつながりを通じ、子育て家庭を支えあう環境が定着している。 ファミリー・サポート・センター事業を推進し、子育ての相互援助活動を支援できた。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

子育て支援の拠点施設として、多様な支援事業を実施するほか、相談業務や情報提供を行い、信頼される事業となっている。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	2次評価	
総合評価コメント		2次評価コメント	
中央児童センターと併設のため施設が狭いなど課題があることから、移転による施設整備について市としての方向性を早期に示す必要がある。		施設的な課題は早急に解決する必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	